

令和 5 年度 墨田区立文花中学校 経営計画書

校長名 稲垣 吉実

学校目標	『チーム文花中としての教育を実践し、文武両道の精神のもと社会に貢献できる生徒、生徒の自主性を伸ばす学校』を目指す。
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「分かる」「楽しい」「できる」「定着する」が実感でき、自主的な学習意欲を育む学校</li> <li>・ICT機器や一人一台のタブレット端末を効果的に活用した ICT 教育を推進する学校</li> <li>・人権を尊重し、夜間学級との交流等、異文化理解を積極的に推進する学校</li> <li>・チーム文花中として学校・家庭・地域が一つになって共に歩む学校</li> </ul>
目指す子供像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を尊重し、思いやりをもって互いに協力し合い、自他を大切にする生徒</li> <li>・毎日の授業や家庭学習を大切にし、自ら考え、進んで学びに向かう生徒</li> <li>・規範意識を身に付け、責任を果たし、国際社会の一員として、社会に貢献できる生徒</li> <li>・文武両道の精神をもち、心身共に健康で何事にも粘り強く取り組む生徒</li> </ul>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に対する教育的愛情と、教職に対する情熱と使命感をもっている教師</li> <li>・豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれている教師</li> <li>・高い「授業力」をもち、生徒に確かな学力を身に付けることができる教師</li> <li>・社会的良識と自ら学ぶ意欲をもち、組織人としての責任感、協調性を有する教師</li> </ul>

項目	取組目標	具体的方策	取組指標	成果指標
各教科指導等	<p>○確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。</p> <p>①学力向上兼研究推進委員会を中心に「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化をテーマに研究を行い、組織として効果的な授業や取組を行う。</p> <p>②一人一台のタブレットや ICT 機器を活用した授業を積極的に行い、生徒の興味・関心や、理解度を高め、授業力向上に繋げる</p> <p>③国・数・英の基礎学力コンテストを実施し、基礎・基本の定着を図り、自信を持たせる。</p> <p>④端末ドリルや学習支援アプリ（キュビナ）を活用し、毎日の家庭学習を通して、学習習慣の定着を図る。</p> <p>⑤ふり返り学習期間において、学力向上委員会を中心に計画的に行い学力の定着に繋げる。</p>	<p>①年 5 回の研修会、年 2 回の研究授業を行う。</p> <p>②年 2 回のタブレットの日には全教科でタブレットを使用する。</p> <p>③7 月 1 2 月 1 月に計画的に実施する。</p> <p>④国社数理英でキュビナを活用する。</p> <p>⑤4 月～6 月、1 月～3 月に 5 教科のふり返り学習を実施する。</p> <p>⑥各検定を年 3 回ずつ行</p>	<p>① 教員アンケートで「校内研修がテーマに沿って行われた」等の肯定的な回答 80%以上</p> <p>② タブレットの日のタブレット使用率 100%</p> <p>③ 教員アンケートで「コンテストが有効に実施された」等の肯定的な回答 80%以上</p> <p>④ 教員アンケートで「学習支援アプリを有効に活用した」等の肯定的な回答 80%以上</p> <p>⑤ 教員アンケートで「ふり返り学習を計画的に行った」等の肯定的な回答 80%以上</p>	<p>①年 2 回の生徒の授業アンケートにおいて、「先生の授業は分かりやすい」の項目において肯定的な回答を 90%以上にする。</p> <p>②学校評価保護者アンケートで「特色ある教育活動に取り組んでいる」を 90%以上の肯定的な回答にする。</p> <p>③朝学習の取り組み期間を徹底して、80 点以上の合格者を 85%以上にする。</p> <p>④ i チェックの家庭での学習時間の増加および休日の学習時間 0 時間の減少。</p> <p>⑤区の学力調査において全国平均正答率との差を -5 ポイント以内を目指す。学校評価生徒アンケートによる「授業で分からない時は積極的に質問していますか」の項目において肯定的な回答を 50%以上にする。</p> <p>⑥各検定試験の受験者</p>

様式 2

	<p>⑥英検、数検、漢検の各種検定を奨励する。</p>	<p>う。</p>	<p>⑥ 教員アンケートで「各検定は有効に行われた」等の肯定的な回答80%以上</p>	<p>数や合格数を1割増やす。トリプル3の特別表彰者の20人以上にする。</p>
	<p>○特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等を行う。 ①特別支援教室及び特別支援委員会による個別指導計画の作成・実施・評価・改善を行う。  ②巡回心理士の授業観察や校内研修を通して特別支援教育について教職員の理解を深め、支援の必要な生徒に教育的対応を行う。</p>	<p>① 年5回の特別支援校内委員会を開催する。  ② 毎月1回の巡回心理士訪問を活用する。</p>	<p>①教員アンケートで「年5回の校内委員会は有効に行われた」等の肯定的な回答80%以上  ② 教員アンケートで「巡回心理士を有効に活用することができた」等の肯定的な回答80%以上</p>	<p>①学校評価保護者アンケートにおいて、「生徒明るく楽しい学校生活を送っている」項目で90%以上の肯定的回答とする。 ②学校評価生徒アンケートにおいて、「先生は生徒のことをよく理解している」項目で90%以上の肯定的回答とする。</p>
	<p>○社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等に取り組む。 ① 発達段階に応じた進路指導を行い3年間を通じたキャリア教育を充実させる。</p>	<p>① 1年では、地域人材を活用した職業調べ、2年では職場体験や上級学校調べ、3年では上級学校訪問や卒業後の進路学習と進路相談を行う。</p>	<p>① 教員アンケートで「発達段階に応じた進路指導が有効にできた」等の肯定的な回答80%以上</p>	<p>①学校評価生徒アンケートの「進路や職業など、自分の将来について真剣に考えている」項目で70%以上の肯定的回答とする。</p>
	<p>○教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。 ①指導力・授業力を高めるため、授業研究研修会を実施し、自己肯定感を高める授業改善シートを活用し、教員相互の授業観察期間を設ける。  ② 指導教諭の模範授業を活用した各教科での還元研修を実施する。</p>	<p>① 授業研究研修会を年2回（9月、1月）に実施。教員相互の授業観察期間を年2回（6月、1月）に実施する。  ② 最低でも5教科は参観する。</p>	<p>① 教員アンケートで「授業研究や授業観察期間は自身の授業力向上につながった」等の肯定的な回答80%以上  ② 年度末に指導教諭の研究授業参観をした教員が5名以上</p>	<p>① 学校評価生徒アンケート項目の「授業には意欲をもって取り組んでいる」項目において90%以上の肯定的回答とする。  ②学校評価生徒アンケートの「困ったときに相談できる先生がいる」項目で70%以上の肯定的回答とする。</p>
<p>生活指導等</p>	<p>○いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ① 生徒理解を図るための校内組織の確立を図るため、生活指導連絡会を実施する。また、いじめアンケートを行い、いじめ問題の未然防止及び早期発見に努める。  ② 教育相談・三者面談を実施して生徒理解を深め、</p>	<p>① 生活指導連絡会を毎週実施する。いじめアンケートを毎月1回実施する。  ② 1年でSCによる全員面接を年2回行う。SSR</p>	<p>① 教員アンケートで「いじめの未然防止及び早期発見に努めた」等の肯定的な回答100%  ② 教員アンケートで「SCやSSRを有効に活用し</p>	<p>①学校評価生徒アンケートによる「いじめなどの問題が少ない」項目で肯定的評価90%以上、保護者アンケートの「いじめや問題行動がない学校づくりに取り組んでいる」項目で90%以上の肯定的回答とする。  ②学校評価保護者アンケートの「子どもの心の</p>

## 様式 2

	<p>学級内の心理的安全性を確保して、不登校の生徒を減らしていく。</p>	<p>を組織的に活用する。</p>	<p>ている」等の肯定的な回答 80%以上</p>	<p>ケアに取り組んでいる」項目で 90%以上の肯定的回答とする。</p>
	<p>○基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。</p> <p>① 生徒会活動と連動した取組の充実と基本的生活習慣の確立のため、あいさつの励行、時間厳守を中心とした全校・学年・学級の取組を行う。</p> <p>②各行事における協働の中から学ぶ、思いやりと支え合いの取組（実行委員会等）を充実させて、良好な人間関係づくりと能力を伸長させる。</p>	<p>① 生徒会による挨拶運動を月1回実施する。また、全校朝礼、学年朝礼、生徒会朝礼を月1回ずつ実施する。</p> <p>② 運動会、文化祭、各学年宿泊行事等において実行委員会を組織する。</p>	<p>① 生徒会による挨拶運動また、全校朝礼、学年朝礼、生徒会朝礼の実施状況 100%。</p> <p>② 教員アンケートで「各行事で生徒の実行委員会を活用した」等の肯定的な回答 80%以上</p>	<p>①学校評価生徒アンケートによる「各委員会活動や係活動に積極的に取り組んでいる」項目で 90%以上の肯定的回答。</p> <p>②学校評価保護者、生徒アンケートの「学級活動や行事に積極的に取り組んでいる」の項目で、肯定的内見を 90%以上とする。</p>
	<p>○危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。</p> <p>①セーフティ教室・交通安全教室・情報モラル・薬物乱用防止・いじめ防止等の教室を実施する。</p> <p>②防災教育の充実を図る。</p>	<p>①各行事を実施し、年3回は保護者との意見交換会を実施する。</p> <p>②学年ごとの防災教育の実施。1年生で初級救命救急ライセンスの取得。また Jr レスキュー隊の上級救命救急ライセンスの取得と地域防災訓練や防災コンテストでの活動を行う。</p>	<p>① 年3回の保護者との意見交換会の実施状況 100%</p> <p>② 教員アンケートで「防災教育が充実している」等の肯定的な回答 80%以上</p>	<p>① 学校評価保護者、アンケートの「心を育てる教育に取り組んでいる」の項目で、肯定的内見を 90%以上とする。</p> <p>② 学校評価生徒・保護者アンケートの「文花中は防災教育が充実している」の項目による肯定的評価 80%</p>
学校の管理運営	<p>○経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。</p> <p>①企画会、運営委員会の週一回の実施とライン化の強化。</p> <p>②地域行事、地域外部講師等を積極的に活用した教育活動の実施。</p>	<p>① 企画会、運営委員会の週一回の実施</p> <p>② 職業講話、大学との連携、地域の外部講師を年3回以上活用する。</p>	<p>① 企画会、運営委員会の週一回の実施状況 100%</p> <p>② 職業講話、大学との連携、地域の外部講師の活用実施率 100%。</p>	<p>①学校評価生徒・保護者アンケートの「文花中は良い学校だ」の項目による肯定的評価 90%</p> <p>②学校評価保護者アンケートの「開かれた学校」の項目で肯定的評価 90%</p>
	<p>○子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。</p> <p>①生徒の実態を把握し、保護者や地域の意見を取り入れたチーム文花中としての教育目標の設定を行う。</p> <p>②自信と誇りを持った生徒の育成に当たり、教育目標や教育活動が適切に実施できているかの評価を実施。</p>	<p>① 年2回の生徒授業アンケートの実施と学校公開時の保護者アンケートの実施。</p> <p>② 中間評価の実施。</p>	<p>① 年2回の生徒授業アンケートの実施と学校公開時の保護者アンケートの実施状況 100%</p> <p>②中間評価の実施し教員アンケートで「教育活動が適切に実施できている。」等の肯定的な回答 80%以上</p>	<p>①学校評価保護者アンケートの「PTA活動や地域活動に協力的である」項目による肯定的評価 90%以上とする。</p> <p>②学校評価保護者アンケートの「教育活動に満足している」項目で 90%以上の肯定的回答とする。</p>

様式 2

	<p>○適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。</p> <p>①ICT環境を含めた教育環境の整備と充実を図る。</p> <p>②教育環境を点検し、充実した教育活動のための環境の改善に努める。</p>	<p>① ICT委員会を中心に年2回の校内研究授業や年1回の校内研修を開く。</p> <p>② 管理職による毎朝の校内巡回を実施。</p>	<p>① ICTの年2回の校内研究授業と年1回の校内研修の実施状況100%</p> <p>② 管理職による毎朝の校内巡回実施状況90%。</p>	<p>①学校評価保護者アンケートの「ICT教育に取り組んでいる」の項目による肯定的評価90%</p> <p>②学校評価保護者アンケートの「教育環境の整備に努めている」の項目による肯定的評価90%以上とする。</p>
<p>家庭・地域連携</p>	<p>○教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。</p> <p>①学校だより、学年だよりの発行による教育活動の啓発。</p> <p>②学校情報メールCOCOOや学校ホームページの更新と改善による啓発。</p>	<p>① 年10回の学校だよりの発行と年30回の学年だよりの発行をする。</p> <p>② 年30回以上のホームページの更新やCOCOOを活用した家庭との連絡を随時行う。</p>	<p>① 年10回の学校だよりの発行と年30回の学年だよりの発行の実施状況90%。</p> <p>② 教員アンケートで「ホームページやCOCOOの活用が充実している」等の肯定的な回答80%以上</p>	<p>① 学校評価保護者アンケートの「教育方針や教育活動をわかりやすく伝えている」の項目による肯定的評価90%以上とする。</p> <p>② 学校評価保護者アンケートの「ホームページが活用されている」の項目による肯定的評価80%以上とする。</p>
<p>家庭・地域連携</p>	<p>○保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。</p> <p>① 地域清掃の実施。</p> <p>②育成委員会と協働して、地域行事等への参加と推進を図る。</p>	<p>① 毎月の生徒会による地域清掃のボランティア活動の実施</p> <p>② 地域ふれあい祭り、地域音楽祭、への参加。</p>	<p>① 毎月の生徒会による地域清掃のボランティア活動の実施状況100%。</p> <p>② 教員アンケートで「地域行事への参加が充実している」等の肯定的な回答80%以上</p>	<p>① 学校評価生徒アンケートによる「他人の気持ちを大切に、思いやりを持って行動している。」項目で90%以上の肯定的回答</p> <p>② 学校評価生徒アンケートによる「地域行事に積極的に参加している」目で40%以上の肯定的回答を得る。</p>

※ 表については、必要に応じて2ページ以上にわたるように加工する。